

授業 科目	CC2G34	1 単位	選択	演習	2 学年前期	担当 教員	非常勤講師 鹿山 卓耶						
	造形的表現指導法												
授業 の 概 要	① 子どもの発達と造形表現に関する知識と技術を理解するために、テキストを読み解きながら授業を進行する。												
	② 造形遊びについて理解を深め、造形表現と子どもの経験を結びつける遊びの展開について学ぶ。												
	③ 「材料・方法」、「題材」、「活動のねらい」の観点から造形表現の教材研究を行う。												
	④ 模擬保育を行い、実践的に、造形表現の指導方法について模索する。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	⑥	⑥	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 保育の内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。					○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	
2. 造形表現に用いる材料・道具・技法を知り、自ら考え、教材として活用する能力を身につける。					○	◎		○	◎	○	○	◎	○
3. 子どもが造形表現に取り組む際の、保育者の支援方法、環境構成及び具体的展開をするための知識・技術を習得する。					○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習		本時の学習内容と到達目標					復 習				
1	オリエンテーション	テキスト・ノートの準備。		当該授業の概要説明と諸注意。学習内容と到達目標について理解する。					次回必要となる材料・道具の用意。				
2	材料・方法から考える 教材研究 1	必要な材料・用具等を準備しておく。		造形的な表現活動を「材料・方法」の観点から考える。手指による紙類の加工方法に着目して造形活動を立案する。					次回必要となる材料・道具の用意。テキスト該当箇所の復習。				
3	材料・方法から考える 教材研究 2	必要な材料・用具等を準備しておく。		手指を使った紙類の加工方法に着目した造形活動を実践する。					必要な修正を試みる。				
4	材料・方法から考える 教材研究 3	必要な材料・用具等を準備しておく。		造形活動を実践する。実践した活動内容を造形教育的な観点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。					必要な修正を試み、期限までに完成させる。次回必要となる材料・道具の用意。				
5	題材から考える 教材研究 1	必要な材料・用具等を準備しておく。		造形的な表現活動を「題材」の観点から考える。複数の身近な材料を組み合わせた工作に関する造形活動を立案する。					次回必要となる材料・道具の用意。テキスト該当箇所の復習。				
6	題材から考える 教材研究 2	必要な材料・用具等を準備しておく。		複数の身近な材料を組み合わせた工作に関する造形活動を実践する。					必要な修正を試みる。				
7	題材から考える 教材研究 3	必要な材料・用具等を準備しておく。		造形活動を実践する。実践した活動内容を造形教育的な観点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。					必要な修正を試み、期限までに完成させる。次回必要となる材料・道具の用意。				
8	造形表現に関する 模擬保育 1	必要な材料・用具等を準備しておく。		造形表現に関する模擬保育についてのオリエンテーション。少数グループに分かれて模擬保育の題材と方針を決める。					次回必要となる材料・道具の用意。テキスト該当箇所の復習。				
9	造形表現に関する 模擬保育 2	必要な材料・用具等を準備しておく。		各グループで模擬保育の教材研究を行う。試作づくりや教材の扱い方を基に保育指導を計画する。					試作と指導案の必要な修正を試みる。				

10	造形表現に関する 模擬保育3	必要な材料・用具等を準備しておく。	各グループで模擬保育の教材研究や模擬保育の教材準備、指導方法の検討や発表練習を行う。保育指導の具体的な内容を決める。	次回からの模擬保育に必要な材料・道具の用意、補助教材等の準備をしておく。
11	造形表現に関する 模擬保育4	模擬授業を行う班は材料等の準備。メモ・筆記用具。	AB 班の模擬保育の実践。実践した活動内容を保育者や子どもの視点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。	授業を通じて学んだことを整理し、まとめておく。
12	造形表現に関する 模擬保育5	模擬授業を行う班は材料等の準備。メモ・筆記用具。	CD 班の模擬保育の実践。実践した活動内容を保育者や子どもの視点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。	授業を通じて学んだことを整理し、まとめておく。
13	造形表現に関する 模擬保育6	模擬授業を行う班は材料等の準備。メモ・筆記用具。	EF 班の模擬保育の実践。実践した活動内容を保育者や子どもの視点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。	授業を通じて学んだことを整理し、まとめておく。
14	造形表現に関する 模擬保育7	模擬授業を行う班は材料等の準備。メモ・筆記用具。	GH 班の模擬保育の実践。実践した活動内容を保育者や子どもの視点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。	授業を通じて学んだことを整理し、まとめておく。
15	造形表現に関する 模擬保育8 まとめ	模擬授業を行う班は材料等の準備。メモ・筆記用具。	I 班の模擬保育の実践。実践した活動内容を保育者や子どもの視点で省察し、造形活動の内にある教材としての可能性について自身の考えをまとめる。当該授業のまとめを行う。	学んだことを整理し、まとめる。提出課題を期限までに完成させる。
成績 評価	作品・レポート・発表 70% 意欲・関心・態度 30% 合計 100%			
教員 からの コメント	自ら考え、実践する授業となりますので、主体性を持って臨んでください。教材研究した内容を、受講生同士で共有することで、造形表現の指導方法について、広く、深く、学びが得られることを期待しています。保育者の適切な導きが、子どもたちの豊かな創造活動を引き出し、展開させるきっかけとなります。学習を通して、保育者と子どもの両方の視点から、「つくる」を通して育まれる力は何かを考え、自分なりの言葉にすることや、手立てに役立てられるようになることを目指してほしいと思います。			
教科 書	書 名 幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材 著 者 樋口一成 編 発行所 萌文書林	推薦 図書	書名 著者 発行所	